

平成19年度主要施策一覧

平成19年2月

1. はぐくみ 文化・創造プラン（教育文化）

（◎＝新規 ☆＝拡大）

- ◎① 特別支援教育業務経費 1,000千円
LD(学習障害)やADHD(注意欠陥・多動性障害)、高機能自閉症などの障害のある児童・生徒の支援対策のため、専門家チームを組織し相談等のサポートを行う。
また、巡回相談員を配置し、学校へ定期的に巡回することで教員に対する指導助言を行う。
- ◎② 児童安全対策費 600千円
不審者による事件防止のため、市公用車に貼付する防犯用ステッカーとボランティアパトロール員が着用する腕章を整備する。
- ☆③ 放課後児童対策事業費 76,000千円
放課後児童クラブの開設状況
平日：放課後～18時
土曜日、三期休業期：8時半～18時
（開校記念日や学校行事等の振替休日にも開設）
○平成19年度新規事業
・放課後児童クラブを張碓小学校に新規開設 → 市内25カ所の小学校区で開設
・特殊学級に在籍する4年生の受け入れを実施（5・6年生については試行による受け入れ）
- ◎④ 校舎等の整備 30,800千円
・花園小、天神小（屋内運動場屋根改修事業費） 13,300千円
・望洋台小（校舎暖房設備等改修事業費） 15,000千円
・西陵中（擁壁改修事業費～平成19年度：地質調査等） 2,500千円

☆⑤ 室内水泳プール廃止後の対応策 52,012千円

駅前第3ビル内の小樽市室内水泳プールを廃止（平成19年6月末日予定）することから、当面の対策として高島小学校温水プールの改修と同小学校温水プールで実施できない一部の水泳教室開催を民間に委託する。

- ・高島小学校温水プール改修事業費 50,000千円
トイレ、シャワー増設、プールフロア設置、外部改修工事等
- ・水泳教室開催経費 2,012千円
水中体操教室：週2回計60回を2コース、定員各40人

◎⑥ 情報教育等設備整備費 1,000千円

各学校で利用するインターネット用ネットワークの安全を維持するため、機器等を更新する。

⑦ 重要文化財旧手宮鉄道施設修復事業費 121,482千円

重要文化財旧手宮鉄道施設（機関車庫3号）の保存修理工事を平成18年度より実施（平成18・19年度継続事業）

⑧ 総合博物館関係経費 23,646千円

旧小樽交通記念館施設を再整備し、博物館と青少年科学技術館の機能を統合した新しい総合博物館を開館する（平成19年7月予定）。

○整備事業費

平成18年度：154,245千円（実施設計、展示・内装工事、自動車館建築工事）

平成19年度：15,500千円（中央ゲートフェンス等外構工事）

- ・特別展開催経費：特別企画「銀河鉄道の夜」の上映など

4,646千円

- ・外灯・車両等維持補修費

3,500千円

◎⑨ アーティスト・バンクに係る施設使用料減免制度

（減免制度のため予算措置なし）

小樽市文化芸術振興条例第15条に基づき、登録アーティストが市の施設において文化芸術活動を行う場合、施設使用料の一部を減免する。

- ・対象施設：小樽市民会館、小樽市民センターなど11施設
- ・減免額：ホール及び会議室、展示室等の使用料（冷暖房料や備品等の付属設備の使用料を除く）の1割

2. ふれあい福祉・安心プラン（市民福祉）

① 福祉コミュニティ都市推進事業費 2,000千円

平成17年4月に「杜のつどい」を開設し、高齢者の生きがいづくり、にぎわいの創出、世代間交流など、市民の交流連携事業を実施している。

○主な事業：パソコン教室、認知症予防講座、子育て支援事業「杜ひろランド」

☆② 児童手当経費（乳幼児加算の創設） 745,000千円

平成19年4月（6月支給分）から3歳未満の児童に対する児童手当の月額を一律10,000円に拡大して支給（現行～第1子・第2子 5,000円、第3子 10,000円）

※拡大分影響額：88,640千円

◎③ 休日保育事業費 1,870千円

日曜日及び祝日における保育所の開所を民間委託により実施する（平成19年8月から実施予定）。

- ・対象：休日に保育を必要とする認可保育所に入所する児童
- ・内容：通常保育と同じ時間帯（7：45～18：00）での保育
- ・定員：20人
- ・場所：市内中央地区1カ所

☆④ 感染症等予防対策事業 850千円

- ・感染症等予防対策費 600千円

従来から行っているエキノコックスやエイズなど検査に加え、新たに性感染症検体検査を実施する。

- ・感染症危機対策ネットワーク事業費 250千円

保健所と学校、高齢者施設、医療機関などとの間で、電子メールやファクスを活用した感染症に関する情報の収集・共有を行う。

◎⑤ 北海道後期高齢者医療広域連合負担金 42,638千円

75歳以上の高齢者及び65歳から74歳までの寝たきり等の方が加入する後期高齢者医療制度が平成20年4月から開始される。本制度の資格管理、保険料の賦課や保険給付については、道内全市町村で組織する広域連合により行うこととなっており、その運営経費として負担する。

3. うるおい 生活・快適プラン（生活環境）

- ◎① 防災意識啓発事業費（防災関係経費のうち） 200千円
市ホームページを活用し、避難所や急傾斜地等を示した防災マップを電子データにより提供するほか、町内会館等への掲示用として市内全域の防災マップを各町内会へ配布する。
- ☆② 家庭ごみ収集の完全委託化 216,000千円
平成18年度当初に直営7台＋委託8.8台の収集体制を、19年度から14.8台とし、すべて委託により実施する。また、冬季収集困難地区対策として5路線拡大し、64路線で実施する。
- ③ 建築物の構造審査強化事業 7,135千円
◎・構造計算適合性判定事業費 6,757千円
一定規模以上の建築物について指定判定機関へ委託し、構造計算の適合性の審査を行う。
・構造強度対策事業費 378千円
市の確認審査において、一定規模以上の建築物について審査体制を強化するため、構造計算の再計算を行う大臣認定ソフトを導入・整備する。
- ◎④ 防火衣整備事業費 115千円
災害現場活動における隊員の安全を確保し、迅速かつ的確な活動を行うため、購入後10年以上経過した防火衣を整備する。
・平成19年度購入数：123着
※備荒資金により購入（平成19～23年度で支払い）
- ◎⑤ 携帯電話・IP電話119番緊急通報位置情報通知システム運用経費 480千円
携帯電話やIP電話からの緊急通報時に、発信者の位置情報を正確かつ迅速に把握できるシステムを導入する。これにより現場到着までの時間短縮が可能となり、火災の早期消火や要救護者の救命率向上を図る。

- ☆⑥ 北しりべし広域連合負担金 823,754千円
 平成16～18年度に整備した焼却施設及びリサイクルプラザが、19年4月から供用開始となる（総建設費：7,470,981千円）。
 ・焼却施設 処理能力：197t/日
 ・リサイクルプラザ 処理能力：73.8t/5h
- ☆⑦ 市営住宅改善事業費 39,519千円
 「小樽市公共賃貸住宅ストック総合活用計画」に基づき、市営住宅の計画的な再生を図る。
 ・道営若竹2号棟リモデル・耐震設計
 ・住宅用火災警報器の整備 ほか
- ⑧ 公営住宅建替事業費 501,281千円
 ・オタモイ住宅2号棟（5階建50戸）
 平成19年度：本体工事ほか（19年度完成予定）
- ◎⑨ 医療検査機器の更新 157,500千円
 市立小樽第二病院のコンピューター断層撮影装置を更新する（シングルスライスCT→64列マルチスライスCT）

4. ゆたかさ 産業・活力プラン（産業振興）

- ◎① 企業誘致促進事業費 1,000千円
 新たな企業の誘致促進を図るため、道内外の企業訪問を行い、本市のPRを行う。
- ② 商店街活性化支援事業費 2,500千円
 商店街、市場等の商店街団体が活性化を目的に行う事業（空き店舗対策、イベント実施、アドバイザー派遣）に対して支援する。
- ③ 中心商店街元気づくり事業費 500千円
 都通り・サンモール一番街・花園銀座の3商店街が連携して行う集客事業に対して支援する。

- ◎④ 歩行者用案内板設置事業費 22,000千円
 増加する外国人観光客など多様な観光客へ対応できるよう、歩行者用案内標識の多言語標記(日本語、英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)、ロシア語)のほか、ユニバーサルデザインの導入などにより安心して散策できる環境を整える。
 ・平成19年度設置予定数：20基
 ※平成18年度は国及び道により中央通に9基設置済
- ⑤ 小樽教育旅行誘致促進実行委員会負担金 1,000千円
 小樽市、小樽観光協会、民間事業者で実行委員会を組織し、誘致キャンペーンの実施やプロモーションツールを充実させることで、小樽への教育旅行誘致促進を図る。
- ⑥ 浜の改革推進事業費補助金 15,940千円
 小樽市漁業協同組合が行う祝津地区ホタテ貝養殖施設の老朽化に伴う施設改良にかかる費用の2分の1を補助する。

5. にぎわい 都市・形成プラン(都市基盤)

- ① 小樽公園再整備事業費(こどもの国ゾーン) 49,000千円
 平成17年度に策定した「小樽公園再整備基本計画」に基づく小樽公園の再整備のうち、平成20年度までにこどもの国ゾーンの整備を行う。
 ・平成18年度：地形測量調査、遊具実施設計、こどもの国施設撤去工事
 ・平成19年度：空の遊びの回廊(大型遊具)、大地の遊びの回廊(大型遊具)、迷路築造ほか
 ・平成20年度：プレーパーク、ターザンロープ、トイレほか
- ② 国直轄工事費負担金(北防波堤) 30,000千円
 ・平成17年度まで：調査・設計、漁業補償、ブロック製作
 ・平成18年度：ブロック製作(N=242個)、被覆工(L=121.5m/港内)
 ・平成19年度：被覆工(L=130m/港内)、測量試験ほか
 ※国直轄事業 平成19年度全体事業費200,000千円

③ 臨港道路新設改良事業費(小樽港縦貫線) 60,000千円

平成8年度着工、19年度完工予定

- ・19年度：本工事 L=89m (完成断面区間)、L=142.93m (摺付区間)

④ 小樽運河浄化対策事業費 90,000千円

- ・海域環境創造事業(北運河のしゅんせつ)

60,000千円

平成13年度着工、19年度完工予定

19年度：しゅんせつ工：V=2,460 m³、覆砂工：A=2,000 m²

- ◎・港湾公害防止対策事業(南運河のしゅんせつ)

30,000千円

平成19年度着工、21年度完工予定

19年度：しゅんせつ工：V=800 m³、調査・設計一式

◎⑤ 小樽駅前第3ビル周辺地区市街地再開発事業費補助金

717,800千円

JR小樽駅前に、商業・住宅・宿泊機能を併せ持った複合ビルを建設するが(平成21年3月完成予定)、その事業主体(小樽駅前第3ビル周辺地区市街地再開発組合)に対し補助を行う。

○施設概要(予定)

- ・ホテル棟：地下1階 地上10階(233室)
- ・住宅棟：地下1階 地上17階(113戸)
- ・店舗：地下1階 地上1階
- ・駐車場：機械式(164台)、自走式(18台)

6.その他

① 移住促進事業費 300千円

団塊世代などを対象に小樽市への移住を促進するため、平成17年7月から専用ホームページにより情報提供を行っているほか、首都圏などで開催されるイベントに移住相談コーナーを設置するなどPR活動を行う。

○移住相談件数（延べ）及び移住決定件数

- ・平成17年度（7月～3月）：相談59件、移住決定6件
- ・平成18年度（4月～12月）： 〃 41件、 〃 4件

② 総合計画策定経費 2,400千円

現行の小樽市総合計画「市民と歩む21世紀プラン」の基本計画期間が平成19年度までとなっていることから、平成20年度中に次期総合計画の策定を行う。

- ・平成19年度：審議会による協議、市民意向調査、素案に対する意見公募
- ・平成20年度：基本構想・基本計画の決定

◎③ 執行が予定される選挙にかかる経費

175,000千円

- ・統一地方選挙(知事・道議)：平成19年4月8日執行予定 42,000千円
- ・統一地方選挙(市長・市議)：平成19年4月22日執行予定 82,000千円
- ・参議院議員通常選挙：平成19年7月下旬執行予定 51,000千円

☆④ 指定管理者制度の拡大 204,249千円

小樽市民会館、小樽市公会堂、小樽市民センター、小樽市銭函パークゴルフ場、市営住宅（44住宅）へ拡大して実施する。

○導入施設数

- ・平成16年度：2施設（小樽市鯉御殿ほか）
- ・平成17年度：なし
- ・平成18年度：26施設（おたる自然の村、小樽市総合体育館ほか）